

地域いきいき健康マップ

真野
地区

produced by 大津市スポーツ推進委員協議会

1 大友桜



この桜の木は「大友桜」や「桜塚」と呼ばれ、近くの田圃の中にありました。この木に纏わる伝説が2つあり、1つは平安期の六歌仙の一人でもある大友黒主がこの地で手傷を負って亡くなったとき、持っていた杖を地面に突き立てたところ、根が生えて桜の木になったということです。もう1つは、「桜姫塚」と呼び、この地の城主大友某の娘桜姫が若くして亡くなり、その菩薩を弔うため植えたとのこと。

2 西勝寺



真野谷口にある安養山西勝寺は明応3年(1494年)に真盛上人によって創建された天台真盛宗の寺院です。ご本尊木像阿弥陀如来立像の胎内から納入品が発見され、その木札の銘記及び宝篋印陀羅尼奥書より、鎌倉初期の建仁3年(1203年)に三善為清を願主として造立されたことがわかりました。重要文化財に指定。

3 上の神田神社



真野ICの近く宮池という用水池の畔に鎮座する延喜式内社です。創建は不詳ですが、一説では持統天皇4年(690年)に和邇部臣鳥務大肆忍勝が須佐能の分霊を勧請したのが始めて、鳥務大肆忍勝は真野臣の姓を授けられ、以後神社は一族の真野氏によって氏神として奉斎されました。本殿は三間社流造で国指定の重要文化財です。

4 曼陀羅山古墳5号墳



曼陀羅山古墳群は、真野地域の曼陀羅山の尾根上から西側に分布する約120基程度の古墳から構成されています。又、尾根上には4世紀の前方後円墳と考えられる和邇大塚山古墳や東側には小野妹子の墓ともいわれる唐白山古墳があります。この5号墳は真野北小学校の北側に隣接する地点にあり、内部もよくわかる古墳です。

5 報国道路建設記念碑



曼陀羅池公園の北側に報国道路建設記念碑という碑が立っています。戦時中、日本の学生が戦争に行ったり、学徒動員として工場で働いたり、農家の仕事を手伝ったりしました。この碑は龍谷大学の学生たちが真野地区であぜ道づくりや排水工事に従事したことを記念して1944年に建立されたものです。

6 金比羅神社



びわ湖ローズタウンの真ん中、曼陀羅山の南側の山頂に鎮座しています。比叡山延暦寺で修業し大僧侶となった豪怒上人によって勧請されました。近くに文化年間に建立された彼の顕彰碑があります。山頂からの見晴らしは素晴らしく琵琶湖や真野、堅田地域の眺望は最高です。

7 真野古墳



真野遺跡は真野六丁目に所在して、堅田丘陵の先端部に位置し湖岸迄200m前後と眺望の開けたところです。室町期に真野城があったのではないかと伝承されています。この遺跡から直径約20mの円墳が検出され、その墳丘中央から長大な割竹型木棺や副葬品として槌型、舟型の埴製品やトロロ石器が発見され、真野古墳として石組み遺構や石棺の模型が展示保存されています。

8 真野の入江跡碑



真野川河口付近は古代・中世には深い入り江をなし「真野の入江」、「真野の菅原」と歌枕に詠まれる名所でした。平安時代後期の貴族で歌人の源俊頼は「鶉なく 真野の入江の浜風に 尾花波よる秋の夕暮れ」と詠んでいます。入江地蔵と呼ばれる地蔵堂があったところに昭和53年に「真野の入江」の碑が建立されました。

9 モニュメント「入り江の旋律」

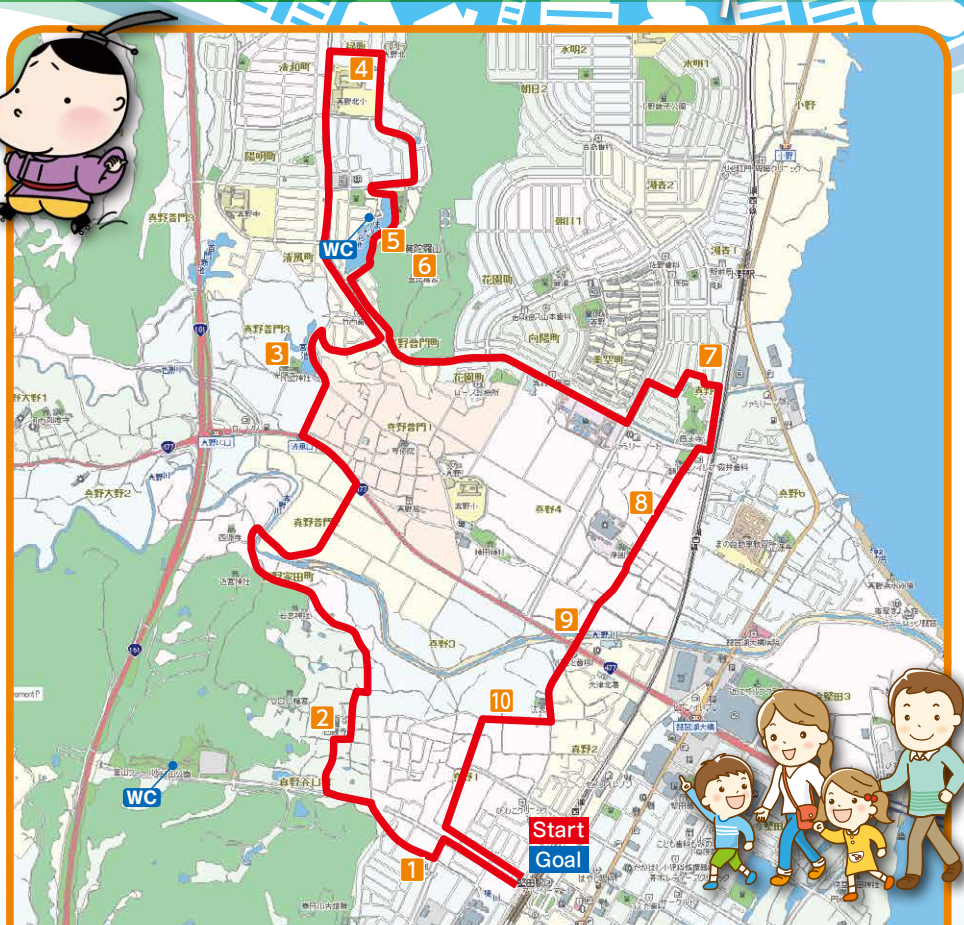


真野川の新宿橋交差点の歩道緑地の一角に、滋賀大学の秋元幸茂先生制作のモニュメントがあります。古代にはこの辺りまでびわ湖のさざ波が寄せる入江であったらしく、その入江をモチーフにステンレスと自然石で構成されており、自然と人間の融合が表現されています。

10 真野廃寺の礎石



真野廃寺は大津市真野地区にあった古代寺院で白鳳時代に造営。この辺りは旧北陸道と龍華越えへの道との交差点でした。発掘時に古墳時代後期の古墳跡や白鳳期の瓦窯跡などが発見されています。周辺には和邇系氏族の真野臣、小野臣や春日氏に関連すると見られる古墳や神社等が数多く点在しており、それらとの関係が注目されています。中村会館前に展示。



Start : JR堅田駅 Goal : JR堅田駅

距離 : 約9km 消費カロリー : 370kcal / 50kg ・ 480kcal / 65kg